

平成18年2月8日

苫前町長 森 利 男 様

苫前町行財政改革推進委員会

会 長 菊 地 暢



第4次苫前町行政改革大綱・実施計画の策定について（答申）

平成17年12月19日付け苦行号をもって諮問の第4次苫前町行政改革大綱・実施計画の策定について、当委員会において当該大綱案の内容等を審議した結果、
適当と認めますので会議録を添えて答申します。

記

〔付帯意見〕

行政改革実施計画の実施に当たっては、町民参加や意見集約、情報提供の方法などについて、その実効性を高めるための工夫に努めること。

苫前町行財政改革推進委員会会議(H17第3回)記録

- 1 開催日時 平成18年1月31日(金) 18:30~20:20
- 2 開催場所 苫前町役場 大会議室
- 3 出席者 委員：菊地 暢、伊藤 修、清水 辰雄、上田 博和、小野 善市、
林 千代美、高田美智子、古村 達 … 8名
(欠席～伊藤 広次)
町：森町長、岡田総務財政課長、松原行革推進係長

4 会議内容等 (全体進行:岡田課長)

(1) 町長あいさつ (森町長)

- ・皆様には、日頃から町政全般にわたってご協力をいただき感謝いたします。
- ・できれば今日の会議の中で結論を出していただければと思っているが、話し合いの中で何か問題点などであれば次の会議の開催も可能である。
- ・行財政改革の計画ということなので、できるだけ早く仕上げ、それに向かって町として進めていきたいと考えているのでよろしくご議論願いたい。

(2) 会長あいさつ (菊地会長)

- ・町にとっても重要な案件であるので、活発に忌憚のないご意見を出していただくようお願いしたい。

(3) 協議事項 (議長:菊地会長)

○苫前町行政改革実施計画(案)について

- ・松原係長、より実施計画案に対する意見募集結果について、一般町民からの意見提出がなかった旨を報告。

(以下、発言要旨)

菊地会長 | 前回の会議で、各項目について慎重な討議を重ねた訳だが、特に前回欠席された委員さんの方から意見等があれば出していただきたい。

上田委員 | 前回の会議で皆さんが話し合われて、その結果についても目を通させていただいたが、計画案についてはこのとおりで良いと思う。

ただ、町民参加のまちづくりといっても・・・町民の意見を反映させるといっても、なかなか(町民の側には)そういった関心は持っていないのではないかと思うので難しいのではないか。

行政を運営していくのは、我々が選んだ代表の人達なのでその人達に任せたいという思いがある。

議員については定数の削減という話も出ているようだが、地域住民の代表ということでもあるので、そういった議論は慎重に進めて欲しい。

ただその中でも、こういった財政難の中で自立を目指していくといってもなかなか難しいが、切り詰めていかなければならないので我々町民としても我慢するところは我慢するということも必要だと思う。

高田委員

前回の資料などを読んでも、国や道の状況が分からない中で、なかなか理解できないところがある。

(町の財政状況など)あまり良い状況ではないということは町民も分かっていると思うが、町長をはじめ議員や職員が経験や知識を持って工夫して作ったものを、良い方向に向かうんじゃないかと信じて、認めていると思う。

小野委員

苫前町は将来合併するのか自立していくのかを別にして、今盛んにいわれている赤字再建団体に陥ったときにはどうなるのか・・・、基金がどれ位あって、いつ無くなるのか・・・、道なども(人件費が)削減されているようだが、崖っぷちに立たされる2、3年前に将来的なことを考えてやってもらえば良いのではないか。

菊地会長

道の合併構想の結果などによって、町の行革の進捗にも影響が出てくるのではないと思うが、この辺についてはどうか？

森 町長

国においても赤字国債を毎年発行しており、年々借金が膨らんできており財政的に大変な状況であり、道においても同様である。

こうした国の財政状況から町の歳入の約6割を占める交付税が年々減額されてきており、ここ数年で5億円くらいの減額となっている。町の財政は交付税がどうなってくるかによって大きく左右されることとなる。

このまま交付税の減額が続けば、町財政は立ちゆかなくなることが目に見えているので、行財政改革を進めて行政のスリム化を進めていかなければならないし、これまでも経費の節減に努めてきている。

市町村合併や広域行政などの話が出てきている・・・現在道でも合併構想の策定を進めているが、合併をするしないにかかわらずできるだけ行政をスリム化しておいて、(合併か自立か)どちらでも対応できるように進めているところである。

行政改革はその点で主軸になるものなので、どんどん進めていかなければならないと考えている。

町の将来の状況については、全く見通しが立たない部分があり、国の今後の施策によって市町村の運命が決まるといった状況であり、全国的にもこのままでは成り立たない状況であるが、歳出を抑えて辛抱してやっていってプラスマイナスゼロに近づけておけば、合併するしないどちらにしても運営していけると考えている。

- 菊地会長 確認等の意味も含めて・・・、(大綱の)大項目が6つ掲げられているが、大きく分けて行政システムに関する部分と財政健全化に関する部分の2つに分けられるのではないかと思う。
この大きく2つに分けた中で、総まとめということでご意見を出していただければと思う。
- 上田委員 人材育成という部分は非常に大事であると思う。このことに関しては書かれている内容で良いのではないかと思う。
- 古村委員 人材育成という部分と関連して、財政も厳しいときではあるが電子化という部分も行革の項目としては欠かせないものかなと思うが・・・、苫前町は災害の少ない町と言われてきたが、今はノロウィルスで騒がれているし、昨年あたり大きな地震や台風が発生して被害を受けている。
こういった災害に対する危機管理の部分で町民との情報共有、情報提供の在り方が遅れているのではないかと感じるので、この部分を住みよいまちづくりという点でこの行革の計画に盛り込むべきではないか？
- 松原係長 古村委員がおっしゃったように、最近これまで苫前町で起きたことがなかったような地震や台風などの大きな災害が続けて発生しているという状況です。
現状うちの町の防災の部分については、地域防災計画というものが平成2年に大幅な見直しがされて以来、大きな見直しはされていない状況にあり、危機管理といった部分の対応は十分ではない状況にあると思う。
この点については、国でテロなどの武力攻撃への対応ということで、国民保護法というものが制定され、これに伴う国民保護計画というものを平成18年中に策定するよう求められているので、タイミングとしては遅れているが、そこにあわせて来年度以降に地域防災計画の見直しを行っていく予定であるので、災害に対する危機管理といったものについては、この地域防災計画の中でしっかりとした対応をしていかなければならないと認識しているのでご理解願いたい。
- 小野委員 項目を見ていくと内容的にまちづくり基本条例の内容とだぶっているような部分が見受けられるが・・・？
- 松原係長 計画の位置付けとして、まちづくり基本条例については町としてのまちづくりの理念を示した最高規範的な条例であり、行革大綱については、そうしたまちづくりの理念の下に行革という視点から策定されるべきものであるため、内容的には当然にだぶってくる部分というものはあることになる。逆に関連性のない内容となっている方が問題であると考えている。
- 伊藤副会長 例えば子どもの通学とかで、不審者の問題とかがあるがそういうものはどの分野に入ってくるのか？

- 松原係長 防犯、学校教育や社会教育の中に入ってくると思われる。
- 伊藤副会長 例えば、そういった不審者や防犯などの情報提供などはこの計画の電子自治体の部分に載せることはできないのか？
- 松原係長 そういった部分に限らず、「ホームページの掲載内容の充実」という項目の中で当然に取り組まれていくことになる。
ちなみに前回の会議で会長からご質問があった、「町のホームページへのアクセスの状況」については、昨年10月から12月までの3カ月で約1万2千件、1カ月平均で約4千件弱、1日あたりでは150～160件のアクセスがあるという状況となっている。
ただ内容については、伊藤副会長からもあったような内容も含めて更に充実していかなければならない状況であるので、計画の項目としてあげているところである。
- 林 委員 先程上田委員からも町議の話があったが・・・「あちこちの町では話が出ているようだが、うちの町でも今の財政難とか人口の減少とかを考えると、町議の数を減らすことはできないのか」と町民の方から聞かれることがあるが、その辺はどうなっているのか？
- 森 町長 町議の定数については現在13だが、議会の中で行革特別委員会を別個に組織しており、その中で話し合われることだが、聞いているところによると最終的には9月の議会までには検討して決めていくことにしているようである。
- 林 委員 下水道についてだが、当初は、古丹別地区は17年に(工事を)やることになっていたと思うがまだ手が付けられていない。
だんだん時間が経過すると、金銭的なリスクも高くなり、高齢者などからは無理をしなくても・・・というような声を聞くが？
- 森 町長 商工会からは18年度から着工してくれと要望されているが、やることは間違いないが、町長・町議選挙の節目ということもあるので、今のところは19年度からやることとして以前から議会でも確認している。
また、古丹別には流雪溝が入っているのと地盤が軟らかいといった問題点もあるので工法的な部分の研究や加入率が(低くなるのではという)懸念もあるのでPRもしていかなければということもあるので時間をおいて19年度としている。また、下水道事業団の方でも19年度でカウントしているので変更するのは難しいと思う。
- 菊地会長 商工会の方では理事会の中で話し合われて、「現在の非常に厳しい経済状況の中で町の経済を活性化させるためには必要な事業である。このまま18、

19年度と工事発注がなければ町内の関連事業者は半減してしまう。また、商工業者だけでなく、農外収入を充てにしている農業者にもプラスになり、町全体としての活性化にもつながるといことも考えられるので、(下水道工事を)やること自体は議決されていることでもあり、可能であれば着工を早めていただきたい。」ということで要望書を出させていただいたところである。

高田委員 16年に出された自立運営検討プランの中では、議員定数は8人となっていたと思うが…？

森 町長 自立運営検討プランは議会にも提示しており、内容を踏まえて検討していただきたいということも伝えてある。
(議員定数については)9月までには間違いなく結論が出される。

小野委員 小平町と苫前町は人口や地域形成の状況も似かよっているが、小平町の職員数は何人くらいいるのか？
先日の新聞報道で、ラスパイレス指数というのが出ていて、苫前町は全道で50番目くらいで、小平町は170番台となっていた。
これからいくと、似かよった規模なのだから、職員の給与などの圧縮も可能なのではないかと感じたが？

森 町長 うちの町の職員数は、しばらく採用していないこともあり、直営の施設がないということもあるが、現在77名くらいで初山別村の次くらいに少ない状況である。
ラスパイレス指数は昇格年齢や年齢構成が影響してくるもので、単純に数値だけで比較することはできない。
職員給与は国の人事院勧告により年々減額されてきているので独自削減は行っていないが、退職者不補充で人員を減らすことで人件費全体として削減してきている。

清水委員 この計画の内容は読めばだいたい理解はできるが、町としても単年度で5億4千万円の赤字を出せば再建団体に転落するという状況への危機感が感じられない。道の行政改革などでも数値目標を出してやっている。
町民の代表であり町政執行の両輪でもある町長と議会がしっかり議論して明確な数値(削減)目標を出して、それに向かって削減努力をしていくことが大事である。

松原係長 財政的な部分での削減ということであれば、この計画というより財政健全化計画の中で明確な数値目標を示して取り組んでいくということになる。
赤字再建団体に転落しないためには、いつの時点でどれくらい削減しなければならないかというのは、収支推計を基にすれば数値は出てくるので、その削減目標を達成するための具体的な取組内容については財政健全化計画の

中で示していくこととなる。

行革大綱の中でも町財政健全化のための健全化計画は策定することとしているところである。

森 町長 この実施計画はこれとして整理した後で財政健全化計画を策定するということ。検討する段階では自立運営検討プランの内容も叩き台となってくることになると考えている。

小野委員 財政的なことについては、町は当然考えているだろうが町民もある程度痛みを分け合わなければならないし、そうでなければ解決できないと思う。

そのために町民説明会などをやっているんだけど、なかなか集まってきてもらえない、人集めに苦労している状況にあると思う。

結局関心がないということなんだろうが、直接痛みを伴うという場面になると関心も持つのではないかと思う。

菊地会長 ここまで議論してきて、財政的な部分でも議論はつきないと思うが、今回我々に与えられた役割はあくまでもこの行政改革実施計画の内容を審議することにより町の諮問に答えていくことであるのでご理解願いたい。

そういうことで諮問された計画の内容を実行するに当たっては、我々の議論してきた意見を反映していただくということで答申するというところでよろしいか？

委員一同 異議なし。

菊地会長 答申に当たっては、「行政改革実施計画の実施に当たっては、町民参加や意見集約、情報提供の方法などについて、実効性を高めるための工夫に努めること」を付帯意見として答申することとしたい。

伊藤副会長 この計画に対するパブリックコメントで意見が1件もなかったということだが、町民の皆さんが大賛成ということで1件もなかったのか、周知の仕方に問題があったのかという部分を今後また同様のことを実施するときには、そのやり方を工夫する必要がある。

松原係長 その点については、「わかりやすい行政運営の推進」という中で取り組んでいかなければならないと考えている。

菊地会長 他になければ、本日の会議は以上で終了する。

(上記発言内容は、言葉遣いや言い回し等について事務局において整理のうえ、記載しています。)